

豊富な学習時間

ゆとりある学習環境づくりを実現する2学期制を採用。

雲雀丘学園では、年間の4月から9月までを前期、10月から3月までを後期とする2学期制を採用しています。この2学期制は、テストまでの期間にゆとりがあるため、各教科・単元の復習や補習が可能になり、基本の習得や基礎学力の理解を深めます。しかも、2学期制ではテスト範囲が広がるため、一時的な知識の詰め込みでは対応できません。また、授業時間数を増やすため、2007年度より7・8時間目授業と、第2・第4土曜日も授業を実施。夏休みも短縮し、8月21日から授業を開始します。十分な授業時間数を確保することによって、より一層学力の定着が図れます。

充実したキャリア教育

大学の授業を体験して、自分の進む方向性や適性を再認識。

雲雀丘学園では高1～高3生を対象に、大学のいろいろな情報が得られる「2 Days Guidance」を2日間にわたって本校で開催しています。1日目は、「大学入試説明会」。21の大学の入試担当者から、来年度の入試の動向や傾向について説明していただきます。2日目は、大学ではどんなことを教えているのかを実際に体験してもらう「1 Day College」。約30の大学に参加していただき、1教室で1大学が講義を行います。専門的な講義から、面白い実習や実験などもあり、生徒たちは自分の興味のある講義を受けることができます。大学の生の講義を疑似体験することで、自分の進む方向性や適性を再認識することができるとても有意義な2 Daysです。また、高1ではキャリア教育の一環として、学園にさまざまな職業の方を招待して、その方の職業体験談を聞く講演会「職業人に学ぶ」などを行っています。

多彩な高大連携講座

学びの視野を広げる高大連携講座を慶應義塾大学などと実施。

雲雀丘学園では、大学との連携を積極的に推進しています。高大連携講座は、専門性の高い分野に興味を持つ意欲的な生徒に、大学の先生の講義を約半年間受講させ、単位を履修するという新しい試みです。その第一弾として、2004年より高校3年生を対象とした慶應義塾大学と連携した公開講座を開設しました。この講座は、慶應義塾大学にとってもはじめての学外講座となり、本学園が全国最初となる画期的な取り組みです。また、慶應義塾大学以外にも、大阪外国語大学、関西学院大学などとも連携し、講座を開設するなど積極的に取り組んでいます。